

## Ⅲ.遠方都市居住者の調査結果

※調査対象

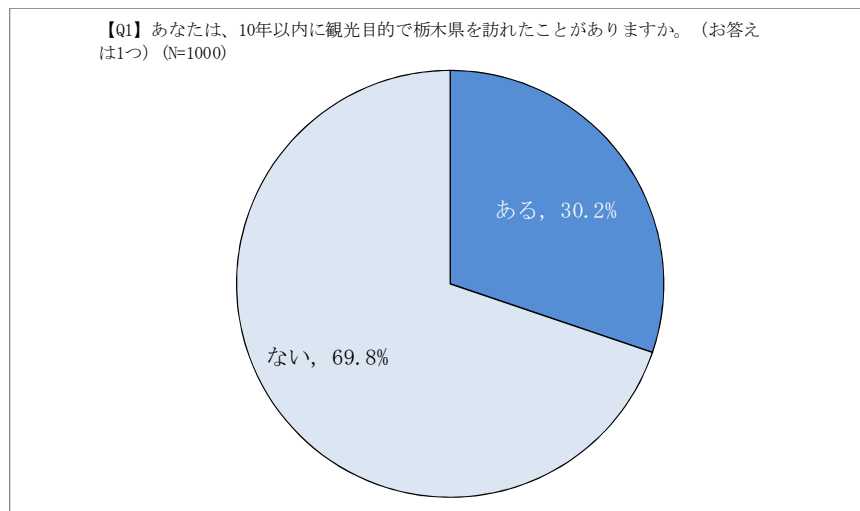
遠方都市居住者：5都市×200サンプル=1,000サンプル  
 (札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市)  
 (各都県、男女、年代別にそれぞれ20サンプルずつ)

### 1.栃木県への訪問（10年以内）

#### (1) 栃木県への訪問の有無

栃木県への観光目的での訪問（10年以内）は、「ある」が30.2%となった。

図Ⅲ-1-(1)-7. 栃木県への訪問の有無（単一回答）

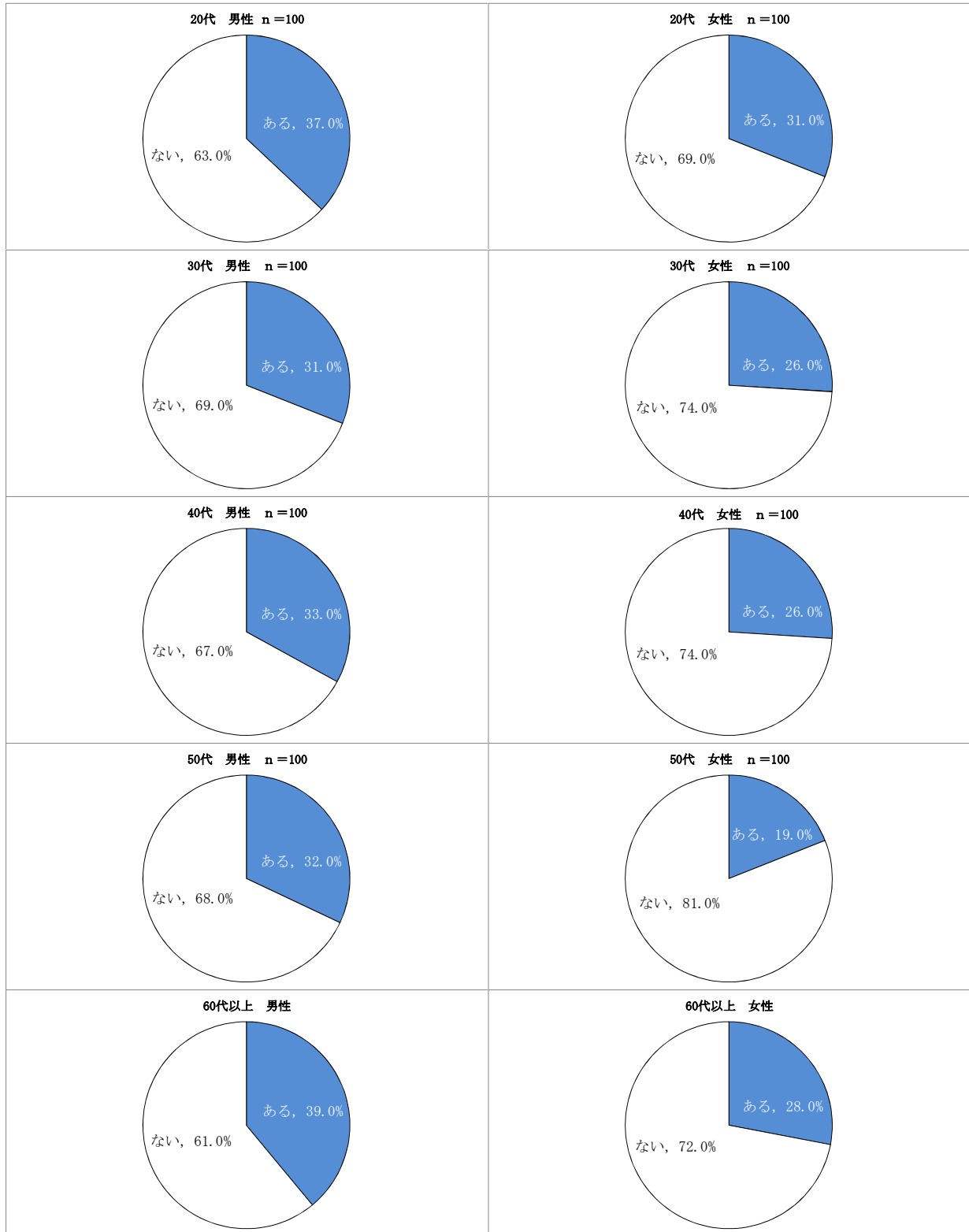


(注) 今回の調査で遠方都市とは、札幌市、仙台市、名古屋市、大阪市、福岡市の5都市の居住者こと。

### Ⅲ.遠方都市居住者

栃木県への訪問の有無を年代別性別にみると、「ある」の割合は60代以上の男性（39.0%）で最も多くなっている。一方、50代の女性（19.0%）が最も少なくなっている。また、全ての年代で女性より男性の方が「ある」の割合が多くなっている。

図Ⅲ-1-(1)-4. 栃木県への訪問の有無（年代別性別）（単一回答）

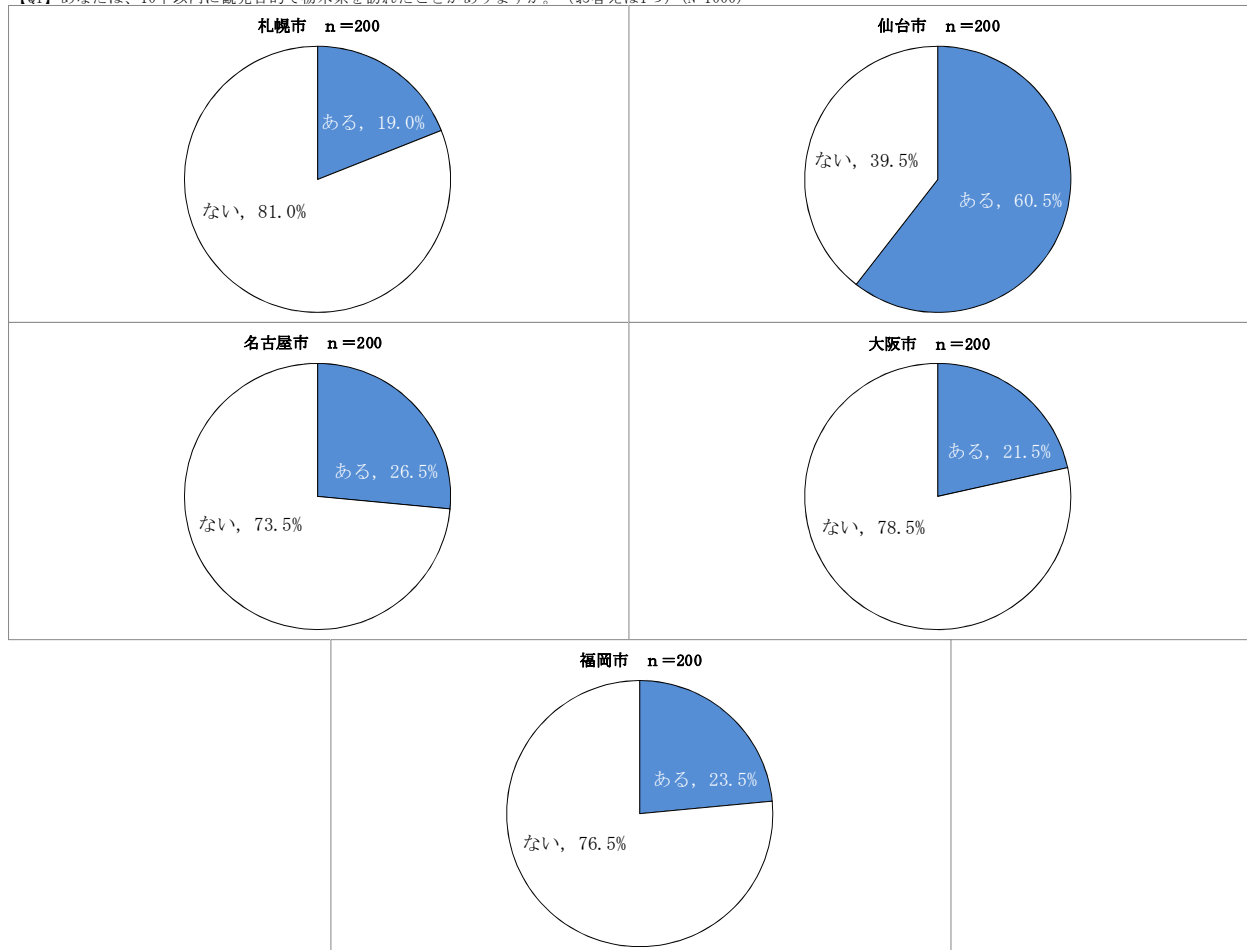


### Ⅲ.遠方都市居住者

栃木県への訪問の有無を居住地別にみると、「ある」の割合は「仙台市」(60.5%)が最も多く、「札幌市」(19.0%)が最も少なくなっている。「仙台市」で栃木県への訪問が多いのは5都市の中で比較的本県への距離が近く、新幹線や高速道路といったアクセスの良さが影響していると考えられる。

図Ⅲ-1-(1)-ウ. 栃木県への訪問の有無(居住地別)(単一回答)

【Q1】あなたは、10年以内に観光目的で栃木県を訪れたことがありますか。(お答えは1つ)(N=1000)



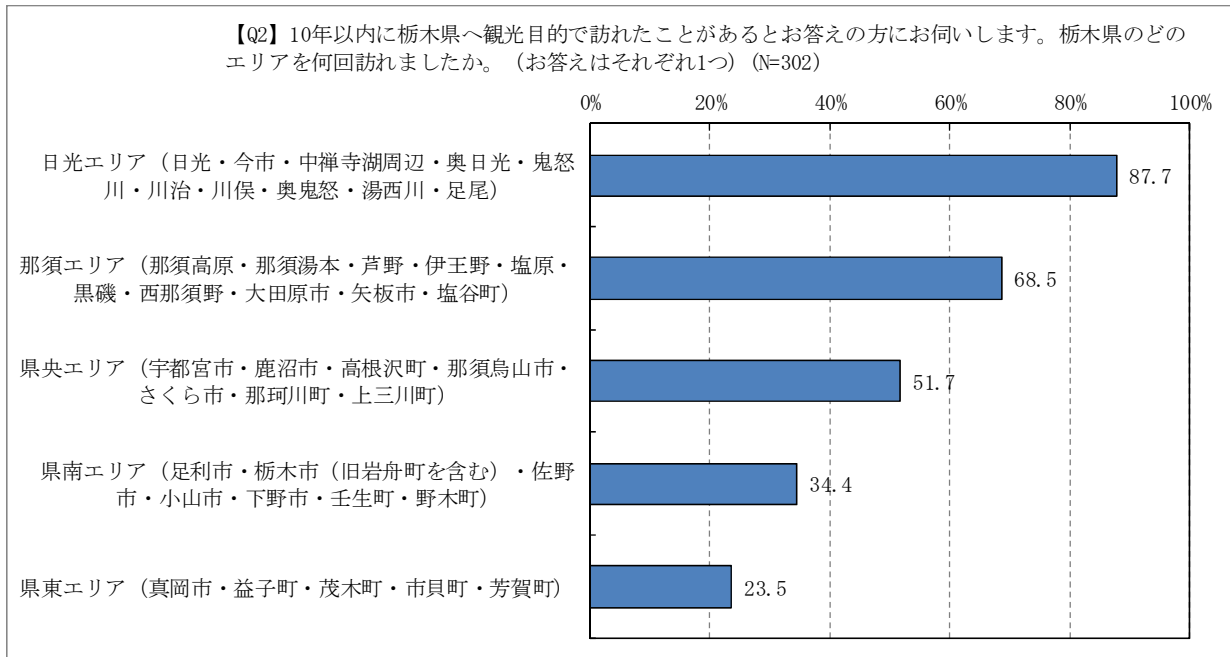
### Ⅲ.遠方都市居住者

#### (2) 訪問エリア

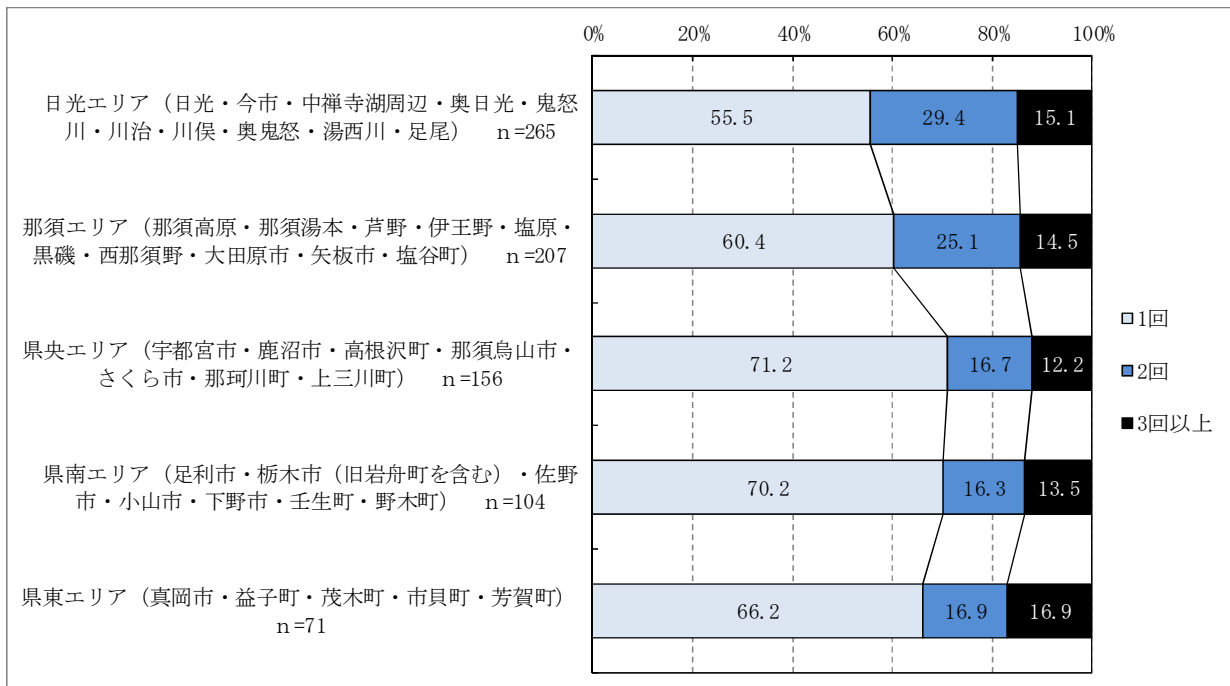
栃木県への観光目的の訪問エリアをみると、「日光エリア」(87.7%)が最も多く、次いで「那須エリア」(68.5%)、「県央エリア」(51.7%)となっている。

エリア別の訪問回数をみると、「日光エリア」で2回以上(注)(44.5%)が他のエリアに比べてやや多くなっている

図Ⅲ-1-(2)-7. 訪問エリア



図Ⅲ-1-(2)-4. 訪問エリア(回数)



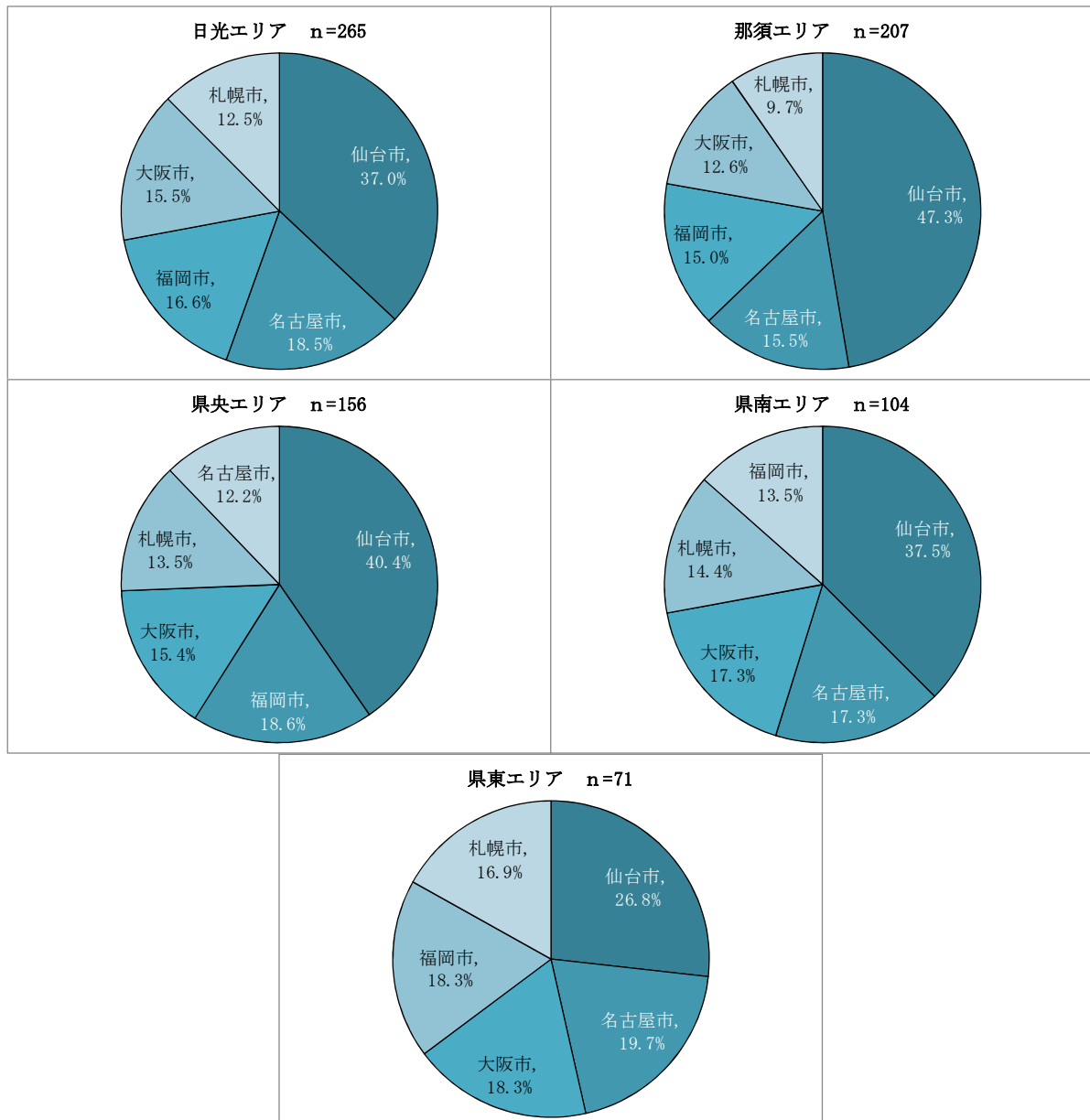
(注) 2回以上は「2回」と「3回以上」の合計。

### Ⅲ.遠方都市居住者

#### (3) 訪問エリア（エリア別）

訪問エリアごとに居住地別の内訳をみると、全てのエリアで「仙台市」が最も多く、特に「那須エリア」では半数近くになっている。

図Ⅲ-1-(3). 訪問エリア（エリア別）



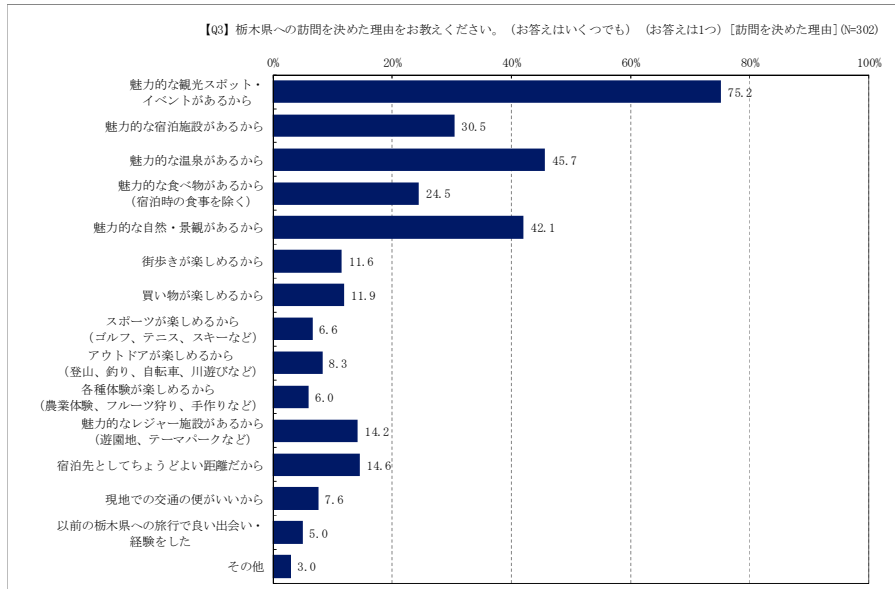
### Ⅲ. 遠方都市居住者

#### (4) 訪問理由

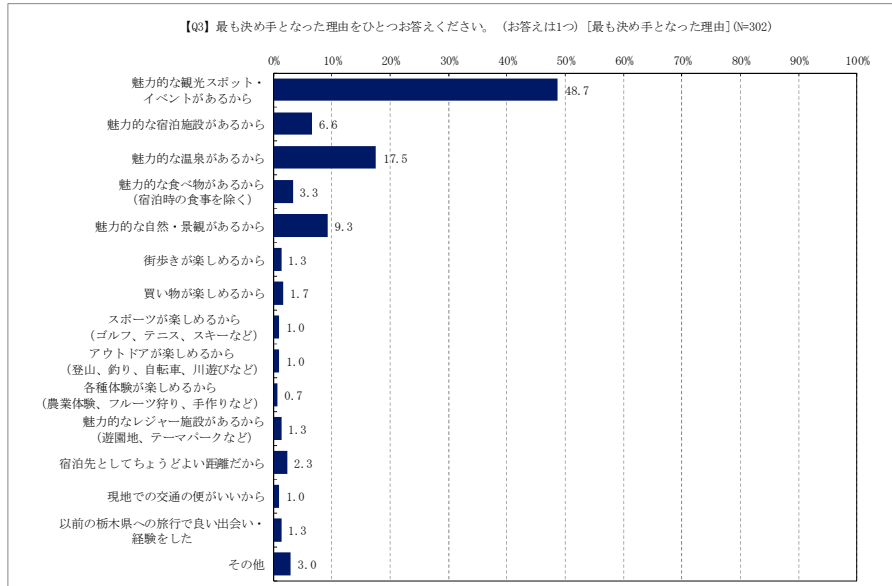
栃木県への観光目的での訪問を決めた理由は、「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」(75.2%)が最も多く、次いで「魅力的な温泉があるから」(45.7%)、「魅力的な自然・景観があるから」(42.1%)となっている。

最も決め手となった理由も同様の傾向を示した。

図Ⅲ-1-(4)-7. 訪問理由（複数回答）



図Ⅲ-1-(4)-1. 訪問理由（最も決め手となったもの）（単一回答）



### Ⅲ.遠方都市居住者

年代別にみると、全ての年代で「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」が最も多く、年代が上がるにつれて多くなる傾向にある。また、「魅力的な自然・景観があるから」も年代が上がるにつれて多くなる傾向にある。

図Ⅲ-1-(4)-ウ. 訪問理由（年代別）（複数回答）

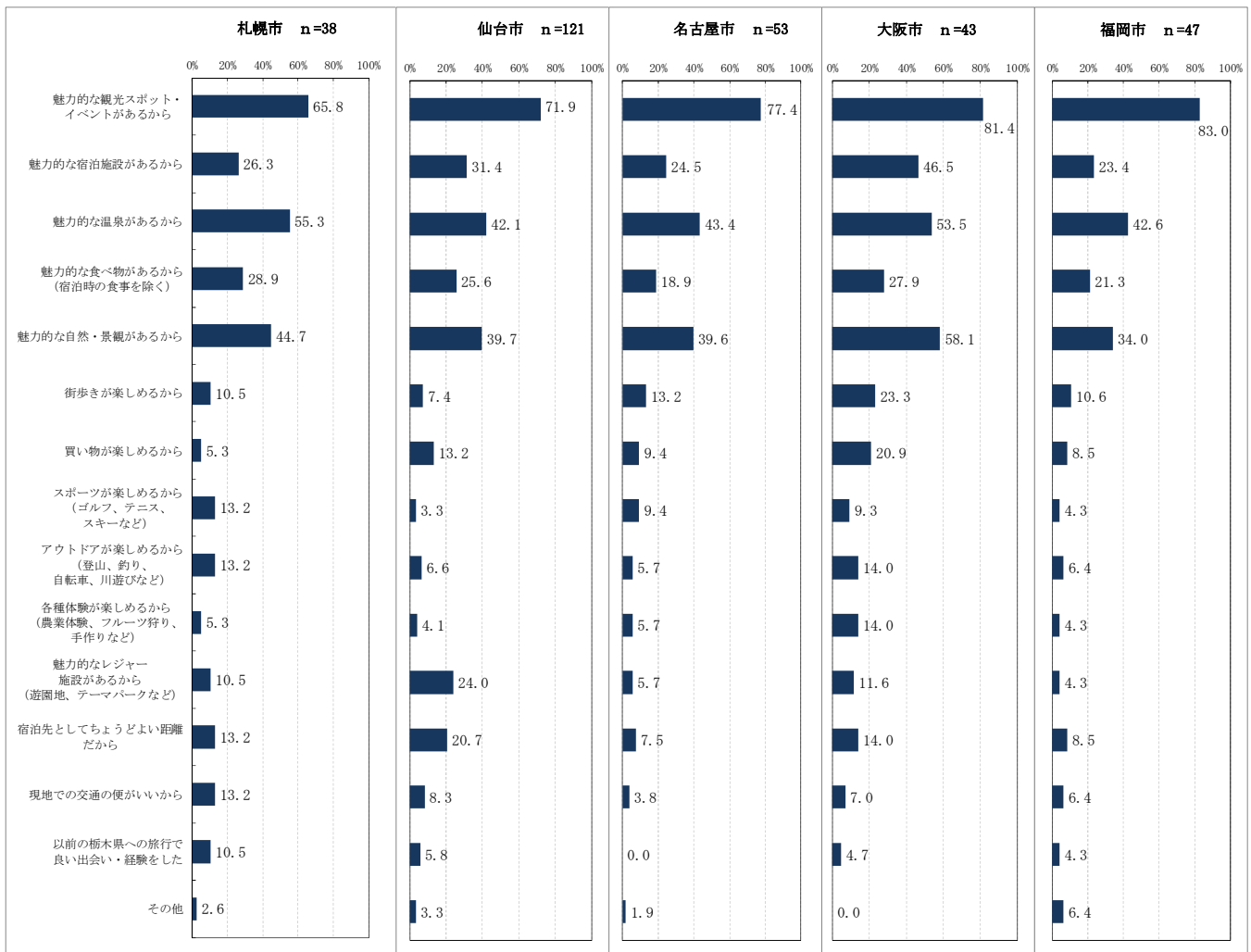


### Ⅲ. 遠方都市居住者

#### (5) 訪問理由（居住地別）

栃木県への訪問を決めた理由を居住地別にみると、全ての都市で「魅力的な観光スポット・イベントがあるから」が最も多くなっている。また、「札幌市」では「魅力的な温泉があるから」が他の都市と比較して多くなっている。「仙台市」では「魅力的なレジャー施設があるから」、「宿泊先としてちょうどよい距離だから」が他の都市と比較して多くなっている。「名古屋市」では他の都市と比較して目立った特徴はない。「大阪市」では「魅力的な宿泊施設があるから」、「魅力的な温泉があるから」、「魅力的な自然・景観があるから」が他の都市に比べて多くなっている。「福岡市」では「魅力的な観光スポット・イベント」が全ての都市の中で最も多くなっている。

図Ⅲ-1-(5). 訪問理由（居住地別）（複数回答）



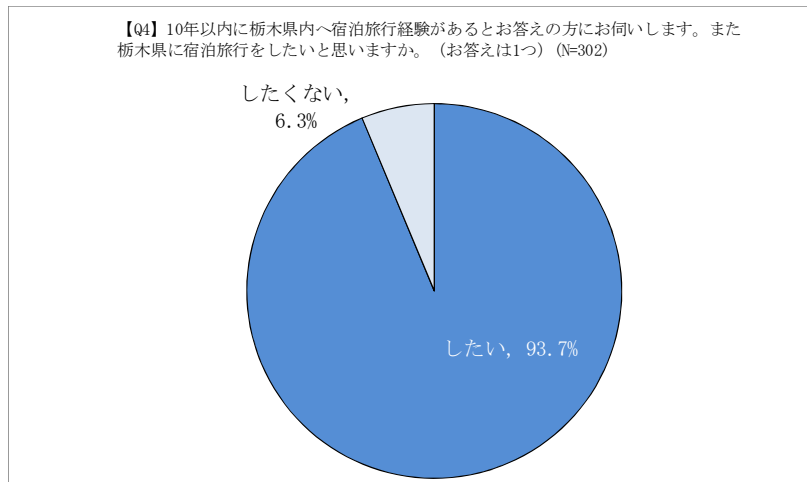


(6) 再訪意向（宿泊旅行）

栃木県へ訪問した方の再訪意向（宿泊旅行）は、「したい」が93.7%となった。

再び宿泊旅行をしたくないと答えた19人の主な理由をみると、「1回で十分だから」（9人）、「旅行先として遠すぎるから」（4人）、「現地での交通の便が悪いから」（3人）、「買い物が楽しめないから」（2人）であった。

図Ⅲ-1-(6)-7.再訪意向（単一回答）



図Ⅲ-1-(6)-Ⅰ.再び宿泊旅行をしたくない理由（19人）の上位4つ

順位	再び宿泊旅行をしたくない理由	人
1	1回で十分だから	9
2	旅行先として遠すぎるから	4
3	現地での交通の便が悪いから	3
3	買い物が楽しめないから	2

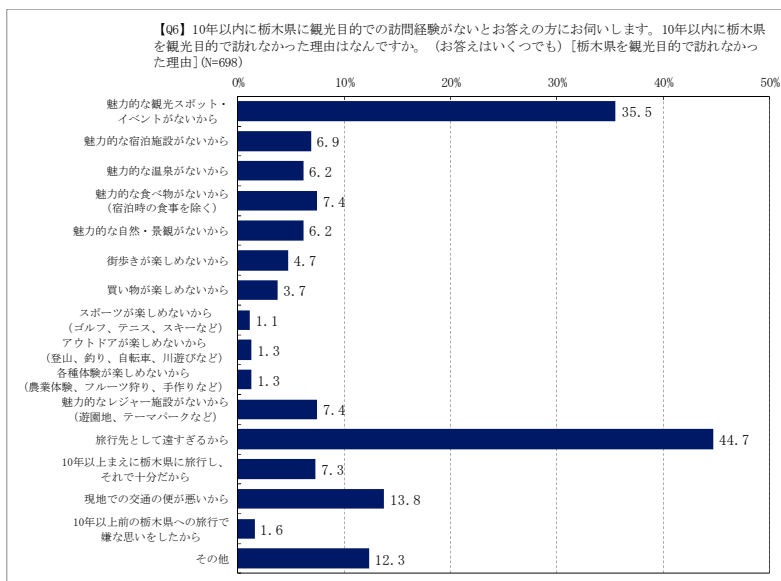
### Ⅲ.遠方都市居住者

#### (7) 訪問しなかった理由

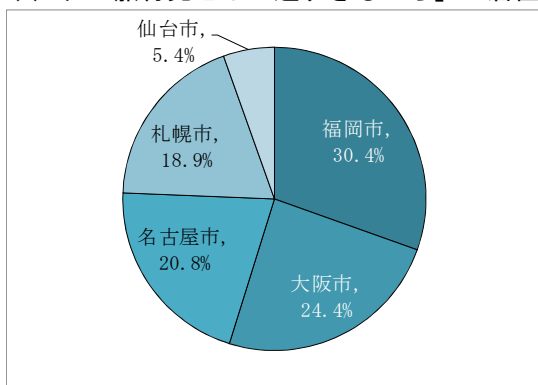
栃木県へ観光目的で訪問(10年以内)しなかった理由は、「旅行先として遠すぎるから」(44.7%)が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがないから」(35.5%)、「現地での交通の便が悪いから」(13.8%)となっている。

「旅行先として遠すぎるから」の居住地別の内訳をみると、「仙台市」(5.4%)だけ少なくなっている。「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の居住地別の内訳をみても「仙台市」(12.1%)が少なくなっている。

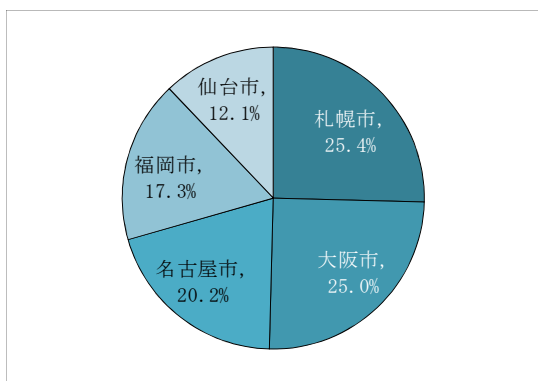
図Ⅲ-1-(7)-7. 訪問しなかった理由(複数回答)



図Ⅲ-1-(7)-イ. 「旅行先として遠すぎるから」の居住地別内訳



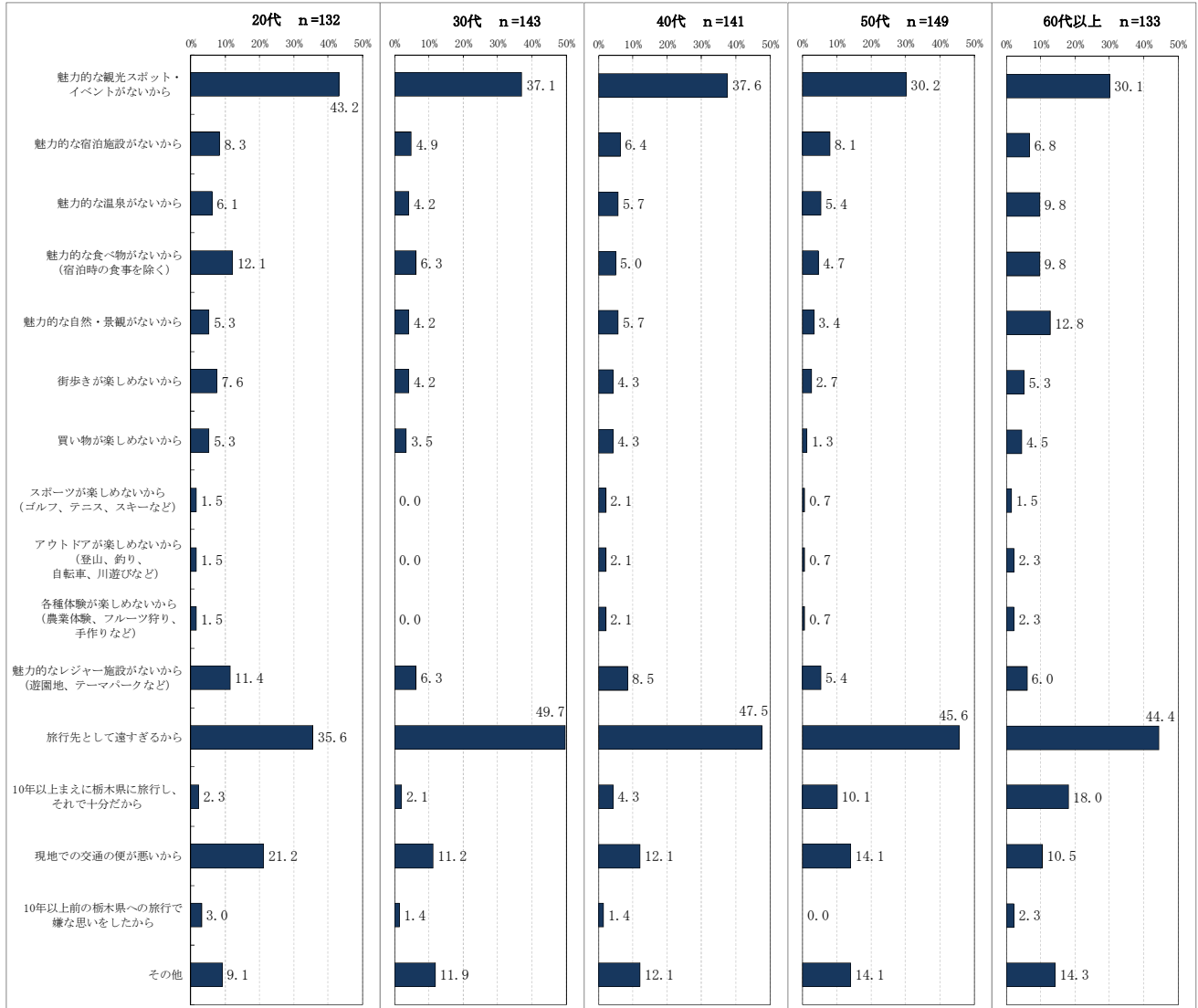
図Ⅲ-1-(7)-ウ. 「魅力的な観光スポット・イベントがないから」の居住地別内訳



### Ⅲ.遠方都市居住者

訪問しなかった理由を年代別にみると、「魅力的な観光スポット・イベントがないから」は年代が下がるにつれて多くなっている。「旅行先として遠すぎるから」は20代が他の年代に比べて少なくなっている。

図Ⅲ-1-(7)-I. 訪問しなかった理由（年代別）（複数回答）



### Ⅲ.遠方都市居住者

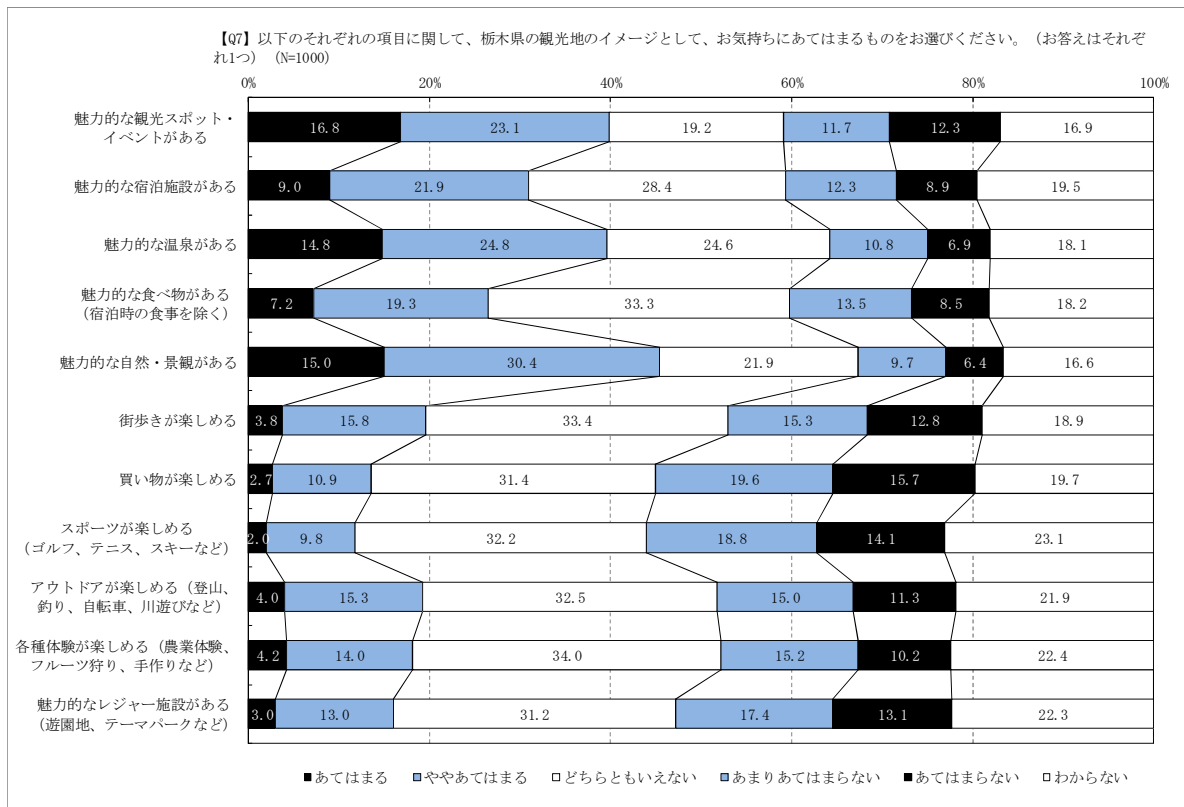
#### (8) 栃木県の観光地のイメージ

栃木県の観光地のイメージは、「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計で見ると、「魅力的な自然・景観がある」(45.4%)が最も多く、次いで「魅力的な観光スポット・イベントがある」(39.9%)、「魅力的な温泉がある」(39.6%)となっている。

一方、「あてはまらない」と「あまりあてはまらない」の合計で見ると、「買い物が楽しめる」(35.3%)が最も多く、次いで「スポーツが楽しめる」(32.9%)、「魅力的なレジャー施設がある」(30.5%)となっている。

また、全ての項目で約20%が「わからない」と回答している。

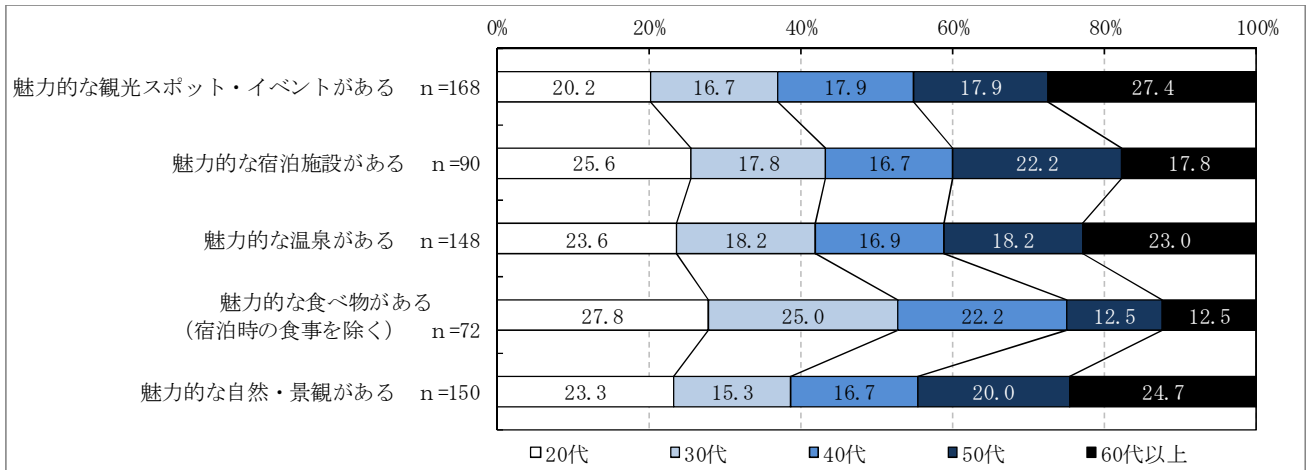
図Ⅲ-1-(8). 栃木県の観光地のイメージ (単一回答)



(9) 栃木県の観光地のイメージ（年代別）

栃木県の観光地のイメージについて「あてはまる」の年代別の内訳をみると、「魅力的な観光スポット・イベントがある」、「魅力的な自然・景観がある」では「60代以上」が最も多くなっており、それ以外の項目では「20代」が最も多くなっている。

図Ⅲ-1-(9). 「あてはまる」の年代別内訳（n=50以上）



(10) 栃木県の観光地のイメージ（居住地別）

栃木県の観光地のイメージについて「あてはまる」の居住地別の内訳をみると、全ての項目で「仙台市」が最も多くなっている。

図Ⅲ-1-(10). 「あてはまる」の居住地別内訳（n=50以上）

